

まちづくり特別委員会

送付 21 - 19

東日本旅客鉄道(株)に、平成21年8月8日の説明会に引き続き、  
地域住民に対し継続した説明を求める陳情

受付年月日 平成 21 年 12 月 24 日

陳 情 者 東京都千代田区鍛冶町 2 - 8 - 1  
平 野 恵 一

## 陳情書

(趣旨)

千代田区議会におかれましては、日ごろ地域区民の生活とまちづくりのためにお力添えをいただき感謝申し上げます。

また、平成21年6月3日にお願いたしました陳情に基づき、東日本旅客鉄道(株)(以下、JR東日本と表記)に説明会開催をご指導くださりありがとうございました。

この故あって、平成21年8月8日に行われた「東北縦貫線重層部工事説明会」には地元の住民が会場に入り切れないほど集まり、活発な質疑応答が行われたことをご報告申し上げます。

一.しかし、この説明会ではJR東日本の説明に対し、神田駅周辺の住民はさらなる不安、不信を増幅させました。応答のあまりのいい加減さに住民の中からは、JR東日本に対し「この説明会の議事録を作成して欲しい」、「それを出席者に配布し、不備な場合は、もう一度質問させて貰い、それに正確に答えて欲しい」との声が上がり、JR東日本も承諾しました。

それから2ヵ月後の10月8日に、JR東日本から「東北縦貫線重層部工事説明会」議事録(別紙1)(質疑応答全11問)が出席者に送られてきました。送られてきた議事録は質疑応答のみで体を成さず、且つ、正確さに欠け、その不誠実さに住民は非常な憤りを覚えました。

このため多くの方から、「資料提出による説明をして欲しい」との声があがっています。

そこで、私たちの方も詳しい議事録を録音テープから作成しました。(別紙2)

この録音の質疑応答とJR東日本の議事録との違いは歴然としております。

(別紙3)

二.その後(別紙4)のとおり「重層化工事本格着工のプレス発表」が地元住民に何の連絡もなく行われ、12月15日深夜には新幹線直上に「東北縦貫線」を新設する工事に着手し、100トンクレーン車が新幹線軌道上、全国初の工法で作業を開始いたしました。

このような日本初の危険な工事が1年半も続くと言うのに、いまだ住民に詳細な工事説明もされておられません。また、千代田区内でもクレーン事故が起きていること、さらに、(別紙5)のように現実に東北新幹線高架橋からの死亡事故が起きていることを考えると、隣接する住民は安心して生活も出来ません。

千代田区議会におかれましては、こうした地元住民の工事に対する強い不安と説明への不信に対してご理解をいただき、JR東日本に対し約束を守り、詳細な説明会の開催を今一度ご指導下さるよう、陳情申し上げます。

平成21年12月22日

千代田区議会議長

桜井 ただし 殿